

有明浜の海浜植物 とアサギマダラ

だより 10号

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会発行

▶ 1. 有明浜の清掃活動



有明浜の清掃を行った時の6月7月の集合写真です。なお、8月は異常高温及び熱中症予防のため中止になりました。

2.伊吹島学校連携

2023 年 6 月 22 日

あいにくの雨模様の中、伊吹島の児童との交流授業を行いました。篠原先生と児童の 5 名と担任の先生が 4 名の参加です。飛翔会からは 4 名の参加でした。授業は午前 10 時 30 分からの開始です。高橋さんからは児童たちへ「蝶に関心を持って勉強してください」というお話がありました。



フジバカマを植える校庭に行き飛翔会の高橋さんから、フジバカマ苗の植え付け方を教えてもらいました。フジバカマ苗は白花と赤花の 2 種類で 64 本、プランターに移植ゴテで穴を掘り苗を植えていきます。



雨の中、児童は黙々と丁寧に植え付けていきます。担任の先生らは傘をさし児童が濡れないようにしてあげています。



2階ラーニングルームで太田さんが、有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会の活動を紹介します。環境保全の取り組み、フジバカマ園の紹介、アサギマダラの産卵、幼虫、飛来数などについてでした。1年生にはマーキングについて、ちょっと難しかったようです。これから徐々に篠原先生と共に勉強して覚えていくことでしょう。



太田さんのプレゼン抜粋

2023年6月22日
伊吹小学校交流授業

有明浜の自然を守る
有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

私達の活動目標
(有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会)

- ※ 有明浜の自然を守る
- ※ 環境保全活動を通して友達の輪を広げる

アサギマダラ飛来時期及び飛来数

・ 2019年	10月12日～10月30日	117頭
・ 2020年	10月6日～11月5日	152頭 (12時々点累計)
・ 2021年	10月6日～11月8日	707頭 (12時々点累計)
・ 2022年	9月30日～11月7日	278頭 (12時々点累計)

7) しもにた 9.21 GN 205

- ・ 群馬県下仁田町南野牧6000-2 ➡ ハガミ山
- ・ 標高
- ・ 移動距離 677 km (21.8km/日)
- ・ 移動日数 31日
- ・ 再撮影者 中山 満子
- ・ 再撮影日 2022.10.21

・ 移動距離7頭平均 17.0 km/日



次に伊吹島の児童からの発表です。
タイトル「伊吹島のスナビキソウと春の飛来数」



◆要点

- ・スナビキソウの栽培面積が約 2 倍になったので、飛来数が多くなると予想していたが思ったより少なかったと感じた。
- ・スナビキソウが囲いの外にも増えていたと疑問点を挙げていた。
- ・飛来期間は5月8日から5月29日までの20日間。
- ・飛来した延べ頭数は去年に比べて、今年は25頭となり増加。
- ・大きくてきれいな個体のオスがいたので、食性の豊かな所で羽化し飛来したと考えられた。

○パソコン操作とパワーポイント作成は篠原先生が行い、児童として発表の場を設けたという先生のやさしさが見えました。



最後に、スナビキソウを乾燥させて押し花風に、標本として作った作品を見せてくれました。
こういう観察を進めていることに驚きました。低学年から自然への興味を持たせる、篠原先生の指導による賜物ですね。



かなくま餅

営業時間 8:00~15:00

定休日 日曜日

香川県観音寺市植田町 35-2

TEL 0875-25-3044



3.春のアサギマダラ飛来数

場所	伊吹島	有明浜	ハガミ山 木之郷フジバカマ園
訪花	スナビキソウ		
	フジバカマ	スナビキソウ	フジバカマ
初飛来日	5月5日	5月15日	5月20日
最終飛来日	7月3日	5月21日	5月20日
総頭数	33	22	1

4.柞田小学校への植栽指導

2023年6月19日

柞田小学校でフジバカマの植え付け指導を行いました。参加したのは、飛翔会の会員8名、生徒15名、教員2名でした。

放課後の特別活動の時間を利用して、プールの傍の空き地に、白と赤のフジバカマを二か所に分けて植えました。苗は太田さんの畑から株分けしたものです。天気が良くとても暑い時間帯でしたが、生徒たちは興味を持って取り組みました。フジバカマの背が大分高くなっており、真っ直ぐ植えるのがちょっと大変でしたが、生徒たちは一生懸命でした。その後ホースを伸ばしてきての水やり、ジョウロでかける子もいました。植え付けは無事終わりました。

生徒たちは、持参したパネルの写真にも興味を示していたようです。今後の水やりをしっかりと頑張るように頼み、フジバカマが無事に育って花を咲かせ、秋にアサギマダラが飛来することを祈りつつ学校を後にしました。(川上裕子さん 寄稿)



5.夏休み親子で海浜植物観察会

2023 年 6 月～

このようなイベントを開催するにあたり、観音寺市教育委員会には後援名義使用申請書や企画書を提出しなければいけないため、日数の余裕を持って取り組みしました。

昨年は学校関係への周知が遅れてしまい 1 週間しか掲示ができなかった反省から取り組みを早めました。教育委員会への書類提出を 6 月 7 日に済ませ、6 月 12 日の承認を得られました。

2023 年 6 月中旬～

早速、チラシのカラーコピーに取り掛かり、各学校へ書類とチラシを渡してきました。観音寺、豊田、栗井、柞田、高室、一ノ谷、伊吹、常磐の各小学校と観音寺、中部、伊吹、三豊の各中学校です。



2023 年 7 月 23 日

最初に高畠会長からの挨拶、次に高橋さんから自宅で育てたフジバカマ及び海浜植物のハマエンドウ・ナタマメなど持ってきてくれていてその説明がありました。会員・親子及び一般の参加はお子様 14 人含めて総勢 39 人です。



そして、会員の太田一歌ちゃんよりアサギマダラの羽化について紹介がありました。一歌ちゃんは照れくさそうにしながらも詳しく説明します。

太田淳一さんが持ってきてくれた蝶の標本に、参加したお子様らは釘付けです。標本はイシガケチョウ・ミヤマカラスアゲハ・ナミアゲハ・アカタテハ・キアゲハ・テングチョウ・ゴマダラチョウ・ヒメアカタテハ・クロアゲハ・ムラサキシジミなど。



太田淳一さん親子



蝶の標本を説明する一歌ちゃん

暑い中、熱中症対策をして散策を開始しました。高橋さんがトベラを説明しています。



ウンランの保護地域周辺でツルナやカワラサイコ、ハマナデシコについて説明を受けます。





ツルナ (ツルナ科)

一年草

花期は5月上旬から8月下旬

日本全土の海岸の砂地に自生。全体は多肉質で毛がなく葉は厚く軟らかい。花は春から秋にかけて葉柄のもとに、1〜2 個つく。花弁はなく黄色く見えるのは厚い“がく”が4〜5 裂したもの。和名「蔓菜」。茎がつるのようにのび、葉は菜のように食べられるという理由から。



カワラサイコ (バラ科)

花時期は6月から8月

本州、四国、九州に分布し、日当たりのよい海辺や河川敷などの砂礫地に生育する。花は黄色で直径8〜15 ミリになる。

和名「河原紫湖」河原に生え、根茎が太く、根茎を薬用とするセリ科のミシマサイコの類「柴胡」に似ることによる。

引用：ウィキペディア Wikipedia



ハマナデシコ (ナデシコ科)

花期は5月中旬から7月下旬

ウンラン保護地域周辺や有明浜の 8 番ゲート付近に群生が見られる。多年草だから来年も同じような場所で育つ。

8 番ゲートのハマナデシコ群生位置は、

緯度：34.14284

経度：133.64218

Google Map でどうぞ

有明浜では現在、堤防の工事を進めていて小さなお子様を連れての横断は難しく、有明浜への砂浜に行くことは進行が妨げられた。異常な暑さもあり行くことを諦めました。有明浜で観察できたであろう海浜植物を次ページに紹介します。

オカヒジキ	花期 7月上旬～8月下旬 アカザ科
	茎は斜めに立ち、枝を分ける。 春、若い葉は肉質で軟らかいが、夏ごろになると硬くなり、先はとげ状になる。姿が海藻のヒジキに似ていることからオカヒジキと名前がついた。
ネコノシタ	花期 7月上旬～8月下旬 キク科
	香川県絶滅危惧Ⅰ類 葉は長く砂上をはい、砂浜をおおうようにはびこっていることがある。葉は厚く、裏表はざらついているため猫の舌のようでネコノシタと言われている。
ハマゴウ	花期 7月上旬～8月下旬 クマツヅラ科
	茎は砂上や砂中横に長くはい、節々から根を下ろす。葉は白っぽい緑色で裏側に軟らかい毛がある。2 kmにわたる有明浜ではとぎれることなく群生する。有明浜では珍しい白花種もみられる。
ハマニガナ	花期 5月上旬～10月中旬 キク科
	香川県絶滅危惧Ⅰ類 白い地下茎の節から葉と花を砂上に出す。葉はやや厚く、形は一定でない。10月中旬まで花は見られるが真夏の時期は少ない。直径2から3センチの黄色い、舌状花の集まった頭状花をつける。

ウンランは2022年撮影のものです。だより10号が発行されている頃には開花していることでしょう。

■2022年10月2日 高橋さん撮影



■2022年9月29日 一株オーナーの関さん撮影



■2013年9月6日 小西さん撮影
(10年前はこんなにも多くの群生があった)



花期 8月下旬～10月上旬

オオバコ科

香川県絶滅危惧Ⅰ類

茎の先に数個の黄白色の花をつける。全体に無毛で白っぽい緑色。葉はやや厚く、茎は斜めに立つ。1998年富山県氷見市海浜植物園から苗を分けてもらい移植後、定住を確認した。

しかし、急激な環境の変化で徐々に減り、自力での繁殖が危うい状態になっている。

和名「海蘭」。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は、ウンラン育成地を保護するため。柵を設置して人が入らないよう対策をしている。

6. フジバカマ園の作業日誌

2023 年 6 月 5 日

1 回目の農薬散布を高橋さんが行いました。フジバカマは白絹病に感染するとその株は抜くしかありません。

白絹病とは白い粉がふいたようになり、茎の 4~5 センチ上に粒々（胞子）があり裂けたら飛んで水に流れて、また空気感染する。人が触ればそれが感染源となります。気温が 30℃ 近くになったら発生しやすくなります。

午前 10 時から行い、消毒場所は千尋神社のフジバカマ花壇、瓦屋、ハガミ山 木之郷フジバカマ園です。モンカット フロアブル 500 倍稀釈液を 52L 散布しました。

2023 年 7 月 9 日

フジバカマ園で白絹病に感染しているフジバカマが見つかりました。太田さんが感染した株を根から掘り起こし、株は廃棄しました。写真は掘り起こす前の状態です。



7 月 9 日～

一株オーナー様に草取りに来るように電話及びショートメールでお願いしました。それ以後に、来てくれた一株オーナー様はたくさんおられます。

7 月 17 日

少し残っていた草取りを飛翔会の小野副会長はじめ、運営委員会メンバー 9 人とで行いました。前日には飛翔会の高畠会長も参加くださいました。翌日に 2 回目の農薬散布を行うための草取りです。同時に太田さんが溝の草削りをミニ耕運機で行いました。



2023 年 7 月 18 日

2 回目の白絹病予防の農薬散布を行いました。連日猛暑の暑さが続いているので、早朝 6 時からの開始となり約 2 時間かかりました。



2023 年 7 月 28 日～

7 月 17 日の草取りから 10 日が過ぎたころ、7 月末に草取りをしました。【左写真】

8 月 1 日に朝 5 時から堰板を加工しました。【右写真】



7 時から水を入れ始め流れが少なく時間がかかります。その間、雑草取りをします。梅雨明け後、水不足のためなかなか下の方には流れて来ません。3 時間かかって、何とか灌水を完了しました。合計の作業は 5 時間を要しました。



広告

「カーライフスクエア」

スマホに
入力クードだけで、
ガソリン代が
ずっとおトク！

登録なしで
ダウンロードするだけ！

クマヤにイコト、あつまるところ。
CarlifeSquare

コスモの NEW アプリ
入れトク！

コスモ

2023 年 8 月 3 日、4 日、5 日

水路際の雑草を手で抜きました。



スナビキソウ周辺の草刈りしました。



2023 年 8 月 22 日

3 回目の消毒をしました。白絹病が発生していたので希釈を 400 倍にして行いました。【左写真】

2023 年 9 月 12 日

4 回目の消毒をしました。【右写真】



7. 竹荒井の設置

2023 年 8 月 20 日

有明浜の 4 番ゲートから 10 番ゲートのスナビキソウを、ビーチクリーナーからの損壊被害を防止するため竹荒井を立てました。





森川ガーデン株式会社
Morikawa Garden Co., Ltd.

TEL 0875-25-2962

FAX 0875-25-4324

花と緑
豊かな暮らしの
アドバイザー

8.新しい出会いがありました

2023 年 6 月 29 日



ハガミ山 木之郷フジバカマ園にいらっしやいました筒井教文・民子夫妻。聞くところ、観音寺市総合コミュニティセンターで見つけたチラシから QR コードを読み取って太田さんに連絡が入りました。

チラシと言うのは昨年作った、一株オーナー募集のチラシで飛翔会の会員らが

人出の多い場所に貼り、紹介してもらおうと言う作戦で結果が出ました。

フジバカマに興味を持ち、アサギマダラにも興味を示す筒井夫妻。フジバカマ苗を分けてもらえることを電話で知り、フジバカマ園まで取りに来ました。80 本ほど持ち帰りました。

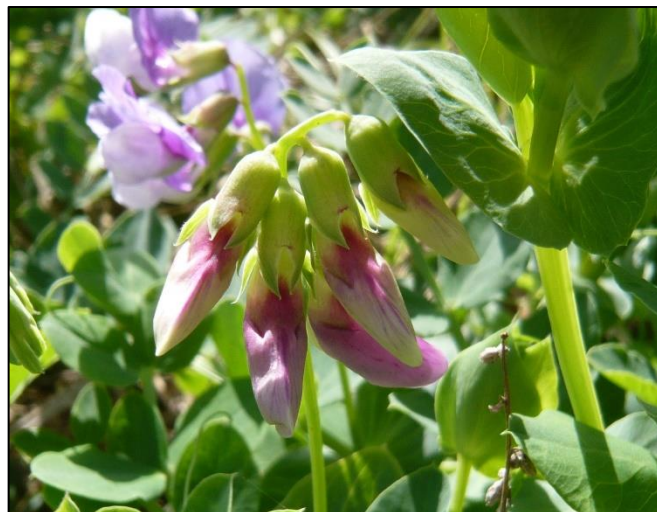
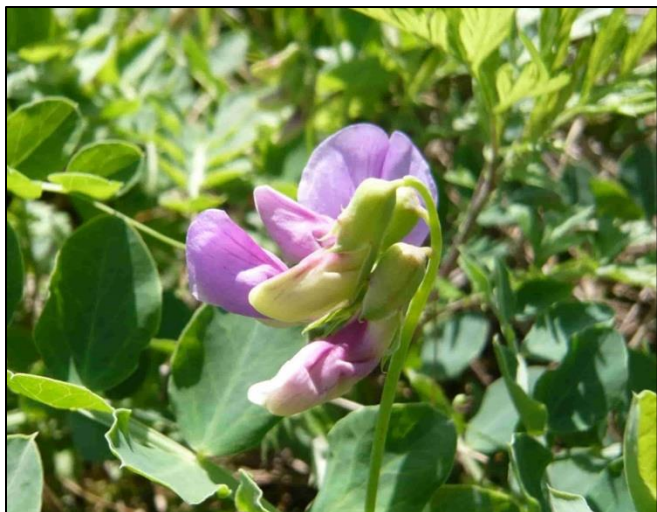
また、準備していたフジバカマ園の春夏秋冬の写真集とだより 8 号を渡しました。小雨模様の中、熱心にメモを取っていました。春にフジバカマ園で植え付けイベントをしていることはご存じありませんでしたが、秋にはきっとフジバカマ園に来てくれることでしょう。



▶ 9.有明浜の海浜植物シリーズ【第3回】

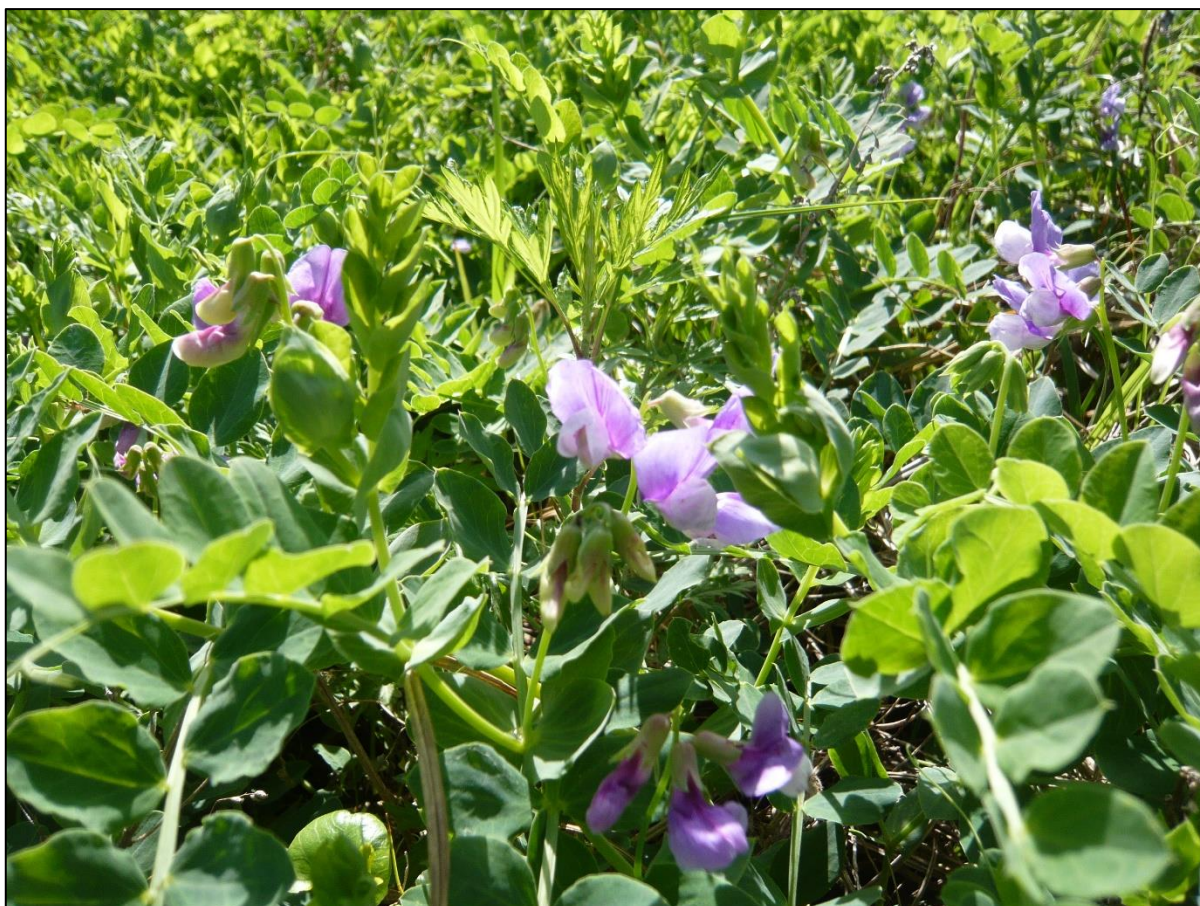
ハマエンドウ

有明浜では群生している場所が1ヶ所あります。全体に粉白色を帯びており、草丈は高くなく、地表面に沿って茎を伸ばし這い広がる。葉は偶数羽状複葉。葉の先端には巻きひげがある。濃紫色の花を咲かせる。花はスイートピーに似ており、美しいので栽培されることもある。



果実はエンドウのような形状で、若いものは芽と共に食用にできるが、下半身が麻痺するラチリズムを引き起こすオキサリルジアミノプロピオン酸などの毒成分を含むため、過食は禁物である。

引用：ウィキペディア Wikipedia



【お知らせ】

■有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会は、持続可能な開発目標（SDG s）を支援しています。



■有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会ホームページ
ariakehama.org



会員みなさまへ

当会はみなさまの会費で運営ができています。必ず年会費 1,200 円は納めるようお願いいたします。遠方の方は 140 円切手 8 枚を郵送してくれてもかまいません。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 会長 高島一芳

連絡先 090-1006-6677

住所

768-0060

観音寺市観音寺町甲 3102-1

だより 10 号は広報誌編集委員が作成しました。

2023 年 10 月発行

「本活動は、(公財)香川県環境保全公社から助成を受けています。」

広告



Wellnest
ENGINEERING



石川組